

競技注意事項

1. 規則について

- 1) 本競技会は 2013 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本競技会申し合わせ事項により実施する。

2. 上柚木公園陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 更衣室は指定された場所を厳守して使用すること。
- 3) 荷物・貴重品は各団体で責任を持って管理すること。万一のことがあっても主催者側が責任を負うことはない。
- 4) 芝生内への立入りは、全面禁止する。
- 5) 観戦、応援、撮影はグラウンド内では一切禁止とし、スタンドで行なうこと。
- 6) グラウンド内への入場時は、運動靴等を着用すること。また、スタンド・競技場室内はスパイクでの立入りを禁止する。

3. 練習について

- 1) 走高跳、棒高跳の練習は本連盟で用意したゴム製バーを使用して練習すること。
- 2) 周回レースが行われていない時間帯のみバックストレートを開放する。（外側 2 レーンは、ハードル専用）その際、事故のないように各自十分注意し、現場の審判員の指示に従うこと。
- 3) 競技開始前のトラックでの練習は、両日とも競技開始 15 分前までとする。
- 4) 跳躍競技種目の練習は、各審判員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所にて行う。

4. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは正規のものを 2 枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目の競技者は、胸または背だけでも良い。
- 2) トラック種目出場者は競技者係で配付する写真判定用腰ナンバー標識（競技終了後回収）をパンツの右下やや後方に付けること。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。なお、男女 5000m、男女 10000mW については両腰に腰ナンバー標識を着用する。
- 3) 男女 10000mW、男女 5000m、4×400mR 出場者には、該当種目実施日に招集所にてレース用特別ナンバーカードを配付する。その際、確認のため事前に配付したナンバーカードを必ず持参すること。
- 4) 特別ナンバーカードは、腰ナンバー標識と同様の番号を配付する。したがって、欠場者がでた場合はそのナンバーを空ナンバーとする。
- 5) ナンバーカードの地色、数字の色は次の通りとする。

種 目	ナンバーカード
男 子	黄地×黒数字
女 子	ピンク地×黒数字
男子 10000mW	白地×黒数字
女子 10000mW	白地×赤数字
4×400mR	白地×赤数字

5. 招集方法について

- 1) 招集所は 100m スタート地点後方付近に設置する。
- 2) 各種目の招集時間は下表の通りとする。なお、以下の招集開始・完了時刻は競技日程を基準とする。

競 技 種 目		組	開 始	完 了
トラック	男子 全種目 女子 全種目 (5000m、3000mSC 以外)	1 ～ 5	競技開始 3 0 分前	競技開始 2 0 分前
		6 ～ 1 0	〃 1 5 分前	〃 5 分前
		1 1 ～ 1 5	競技開始時刻	〃 1 0 分後
		1 6 ～ 2 0	〃 1 5 分後	〃 2 5 分後
		2 1 ～ 2 5	〃 3 0 分後	〃 4 0 分後
		2 6 ～ 3 0	〃 4 5 分後	〃 5 5 分後
	男女 5000m、3000mSC	1 ～ 2 組	競技開始 3 0 分前	〃 2 0 分前
		3 ～ 4 組	競技開始時刻	〃 1 0 分後
フィールド	男子 全種目(棒高跳を除く) 女子 全種目(棒高跳を除く)		競技開始 5 0 分前	〃 4 0 分前
	男女 棒高跳		〃 8 5 分前	〃 7 5 分前

- 3) リレー競走における出場者とそのオーダーは、招集所に用意されているリレーオーダー用紙に記入し、第 1 組目の招集完了時刻 1 時間前までに競技者係（招集所）に提出すること。（メンバーについては競技規則第 170 条を参照のこと）
- 4) リレーに 1 大学から複数のチームが出場する場合、それぞれのチームは独立した団体とみなし、チーム間での変更・交代は認めない。
- 5) 棒高跳の招集は現地にて行う。
- 6) 招集に遅れた者は出場を認めない。他の種目に出場中の場合は、重複出場届（招集所に用意）を競技者係に提出すること。

6. 棄権について

- 1) エントリー後、病気または事故等により、やむなく棄権する場合は不出場届（招集所に用意）に必要事項を記入、押印し競技者係に提出すること。

7. レーンについて

- 1) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。

8. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者側で用意したものを使用すること。但し、棒高跳用ポールについては個人所有のものを使用することができる。

9. 商標について

- 1) 競技者が競技場に商品名のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずテープ等を貼って隠すこと。

10. 競技について

- 1) 本競技会における不正スタートは、1回で失格とする。
- 2) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は下表の通りとする。

		練習	1	2	3	4	5	6	
走 高 跳	男子	1m70	1m75	1m80	1m85	1m95	以降最後の 1 人となるまで 3cm 刻みとする。		
	高校男子	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	以降最後の 1 人となるまで 3cm 刻みとする。	
	女子								
棒 高 跳	男子	(低) 3m60	3m70	3m90	4m10	4m30	4m50	4m60	以降最後の 1 人となるまで 5cm 刻みとする。
		(高) 4m40							
	女子	2m30	2m40	2m50	2m60	以降最後の 1 人となるまで 5 cm 刻みとする。			

- 3) 三段跳の競技場所（助走路）は2カ所設定する。踏切板は助走路の砂場の近い方の端から「11m」と「8m」の2つに分けて設置する。競技者はエントリー時に申告した競技場所（助走路）に出場すること。
- 4) 走幅跳・三段跳・砲丸投の試技は3回までとする。
- 5) トラック競技について
 - i) 計時は全て電気計時（0.01秒）を用いて行う。
 - ii) 男子5000mは19分00秒で残り1周に達しない者は失格とし、競技を打ち切る場合がある。
 - iii) 女子5000mは20分30秒で残り1周に達しない者は失格とし、競技を打ち切る場合がある。
 - iv) 男女10000mWは60分00秒で残り1周に達しない者は失格とし、競技を打ち切る場合がある。

11. 給水について

- 1) 5000mと10000mWでは給水を実施する。なお、給水は主催者側が準備し給水場所はバックストレート側とする。

12. 更衣室について

- 1) 更衣室については指定された場所を使用すること。（使用後は清掃すること）
- 2) 貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者側が責任を負うことはない。

13. その他

- 1) 競技運営上、多少競技日程が変更になる場合がある。
- 2) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んではいない。
- 3) 競技中の事故について、主催者側で応急処置は行うが、その後の責任は一切負わないものとする。
なお、緊急の場合に備え各自で保険証を持参すること。

- 4) 大会当日に出たゴミは、必ず各自で持ち帰り処分すること。
- 5) 上柚木公園陸上競技場の開門時刻及び閉門時刻は以下の通りとする。

	(開 門)	(閉 門)
1 日目<3 月 27 日(木)>	8 : 00	17 : 30
2 日目<3 月 28 日(金)>	8 : 00	17 : 30

※開・閉門時刻は厳守のこと。

- 6) 駐車場について
上柚木公園の第 5・第 6 駐車場（無料）を使用すること。なお、駐車券は発行しない。
- 7) 盗難・紛失について
主催者側で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。
(遺失物等は学連控室で管理する)
- 8) その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。